

紙上

北大肝臓病教室

2023年3月15日（水）発行 vol.14

近年の肝疾患を取り巻く状況と定期通院

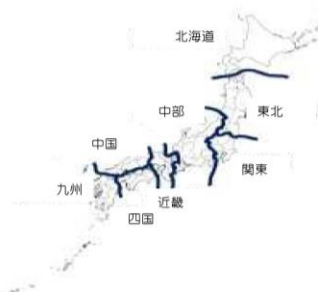
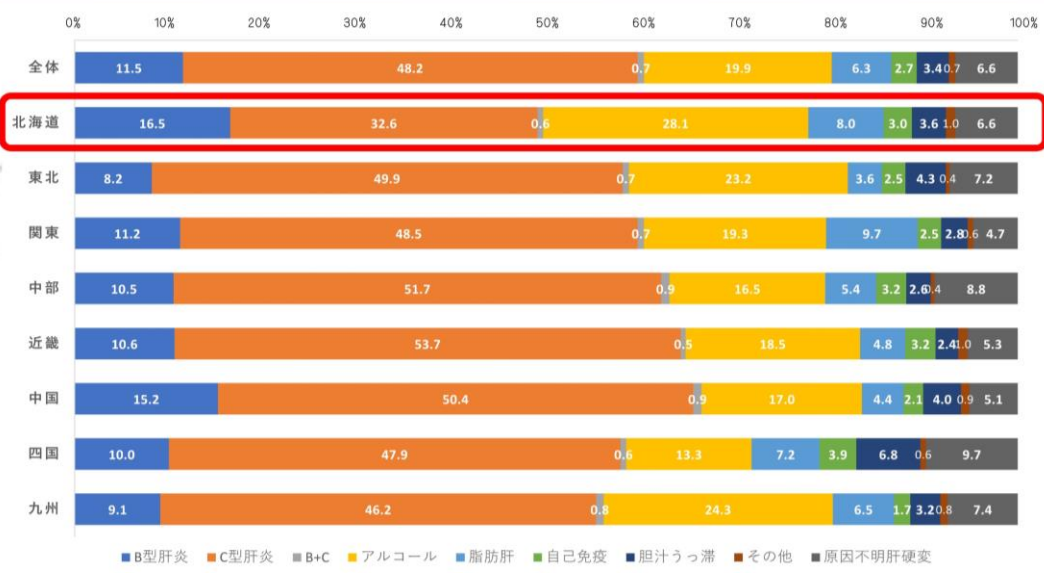
30年前はウイルス性肝炎（B型・C型肝炎）患者さんが多かったのですが、薬剤の進化などにより特にC型肝炎患者さんは激減しています。北海道はもともとB型肝炎患者さんが多いため、数に大きな変化はありません。

最近増えているのは脂肪肝・アルコール性肝障害の患者さんです。肝臓は我慢強く、また大きな臓器ですので、必死に持ちこたえています。限界はあります。その他、原発性胆汁性肝硬変・自己免疫性肝炎なども肝疾患ですが、どの肝疾患も長いお付き合いになることが多いです。また外から見ても肝臓の状況がわからないため、定期通院（採血・画像検査）が重要です。



通院の度に、紙上肝臓病教室を受け取っている方、ちゃんと通院できているな!と、自分に声をかけてください♪

肝硬変症の成因（地域）



外来受診時にできること ～消化器内科の場合～



1. 体調・お薬調整の相談

- ・主治医に相談するとき、症状の写真が撮れたら持参するとわかりやすいです。
(皮膚症状、浮腫の状況など)
- ・体重・血圧などは記録表やアプリなどで記録すると変化が患者さんだけでなく、医療者にもわかりやすいです。
- ・内服薬の余りがあるときは、残数を数えてくると調整できます。

2. 社会資源活用の相談

- ・65歳以上の方は介護保険の利用ができます。
条件によってはこの年齢でなくとも利用できることもあります。
- ・介護保険で利用できるものは介護度によって差はありますが、福祉用具貸与(車椅子、杖、入浴用チェアなど) デイサービスの利用 ヘルパーサービスの利用などがあります。
- ・訪問看護師・訪問診療の利用
- ・ソーシャルワーカーなどと協働して支援することもあります。



3. 診断書の相談

- ・記載してもらいたい診断書がある場合は原本を持参ください。
コピーには記載はできませんが、相談に乗ることは可能です。
- ・診断書の作成には約2週間の時間を頂いております。

4. 外来受診の相談

- ・外来受診はご家族と来ること您也可以。
- ・ご家族や職場の方が主治医からの説明をご希望される場合は事前にご相談頂けましたら、できる範囲で調整します。



ご意見・ご感想

消化器内科外来カウンターへご提出ください。
